都留市教育委員会指定 **都留文科大学連携推進研究指定校**

都留市立谷村第一小学校

公開研究会

令和7年
11月28日（金）

いきいきと学び続ける児童の育成
－自ら選択し、振り返りを通して学びを深める授業づくり－

受　　付	13:20～13:40
公開授業	13:45～14:30
分 科 会	14:45～15:30
全 体 会	15:45～17:00

総括・講評、鼎談

13:20	13:45	14:30	14:45	15:30	15:45	17:00
受付	公開授業	移動	分科会	移動	全体会	

ご講評

都留文科大学学長　加藤 敦子 先生

鼎　談

テーマ「子供主体の学びについて考える」

登壇者　都留文科大学副学長　春日 由香 先生
谷村第一小学校研究主任　小川 貴史
都留文科大学附属小学校研究主任　前田 裕太

「子供主体の学び」のあり方について、両校の取り組み実践と最新の知見をもとに考えていきます。

〒402-0053　山梨県都留市上谷一丁目1番2号　TEL0554-43-3105

谷村第一小学校　ご挨拶

本校は、歴史と文化を感じることができる城下町都留市の中心部に位置しています。校舎は、谷村城跡に立ち、勝山城跡を背にしています。かつては児童が1,000名を超えていた時もありました。現在は287名の児童が学び、通級指導教室と共同学校事務室が設置され、都留市の教育全体に貢献することも本校の責務となっています。子供たちが、未来の社会で自分らしく主体的に生きていくためにはどのような学びが必要なのか――この問いに向き合いながら、私たちは日々教育活動を展開しています。今回の公開研究会において、都留文科大学と連携した研究の成果を発表する機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。皆様から多くのご意見を賜り、今後の研究にいかしていきたいと存じます。谷村第一小学校　校長　上野　敦司

本校のめざす子供像

本校では、「『生きる力』を育み、未来に生きる児童の育成～いきいきと主体的に学ぶ子ども～」を学校教育目標に掲げ、いきいきと学習に取り組む児童の育成を柱に取り組んでいます。子供達が学習に関する様々な振り返りを通して学習を深く理解する姿や、次の学習への見通しを持ち自己調整をしながら学び続ける姿をめざし、研究テーマを「いきいきと学び続ける児童の育成ー自ら選択し、振り返りを通して学びを深める授業づくりー」としました。児童の現状から目指す姿を明確にし、授業づくりと学級集団づくりについて様々な視点での協議を行ってきました。児童が、いきいきと学び続ける姿勢や他者との関わりを通して学びを深める力を育むために、子供達にとっての学びをどのようにつくるか、学習環境をどのように整えていくか、児童の学びをとのように支援していくかについて研究を進めています。

谷村第一小学校

校内研究会研究授業としての公開

１年２組　算数科　「のこりのどんぐりはなんこかな：ひき算」

授　業　者：青木 健将
指導助言者：都留文科大学　新井 仁 教授

児童の日常から生まれる疑問、１３－９の計算の方法を既習事項をもとに考えます。授業を通して、学校で学ぶことの意義、友達と共に学ぶことの楽しさを伝えていきます。学級集団における個別最適な学びを探しながら、クラス全員がゴールすることを目指します。

２年２組　国語科　「１年生にお話の『すてき』をしょうかいしよう！」

授　業　者：今村 拓海
指導助言者：都留文科大学　春日 由香 教授（副学長）

自分で選択した本のお話紹介カードを作成します。本の内容が1年生に伝わるように書き表し方を工夫しながら、お話の『すてき』を自分の言葉で組み立てようとする姿、これまでの学びをふりかえりながら次の学びにつなげようとする姿を目指します。

５年１組　理　科　「物のとけ方」

授　業　者：奥秋 亮
指導助言者：都留文科大学　三崎 隆 特任教授、山森 美穂 教授

導入から出てきた「気づき」と「疑問」をもとに課題設定、単元計画を児童とともにつくり、「ふりかえり」と「根拠」を柱に、物のとけ方の規則性を調べる活動を通して、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を身につけ、学び続ける児童の育成を目指します。

都留市教育委員会　ご挨拶

本市では、令和７年度から令和１１年度までの５年間を計画期間とする「都留市教育大綱・教育振興基本計画」を令和７年３月に策定しました。基本方針１では、大学等と連携した教育施策の展開を掲げ、都留文科大学との連携強化を施策項目とし、同大学の持つ教育に関する高い知見を小中学校教育に積極的にいかしていくこととしております。これを受け、教育委員会では、「都留文科大学連携推進研究指定校事業」を事業化し、谷村第一小と都留文科大学附属小の２校を研究指定校として指定しました。両校には、校内研究会を中心に、大学の先生方にご指導をいただき、「子供主体の学び」のさらなる実現に向けて取り組んでいただいております。両校の研究や取組の成果を各校の実践にいかしていただくとともに、さらなる研究発展のため、ご参観の皆様の忌憚なきご意見をいただけましたら幸いです。　都留市教育委員会　教育長　小林　正人

都留文科大学附属小学校　ご挨拶

本校は、都留市南東部の菅野川沿いに位置し、豊かな自然に囲まれた環境のもと、全校児童25名が学ぶ小学校です。 2015年より文部科学省教育課程特例校として、全学年に英語科を設置し、外国文化への関心を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に取り組んでまいりました。 また、英語教育・情報教育・環境教育等においては、都留文科大学との連携のもと、多様な教育活動を展開しております。英語の授業や日常的な取り組みを通して互いに伝え合う力を育むため、日々工夫を重ねてまいりました。今回の公開研究会では、そうした取り組みの一部をご覧いただける機会をいただき、誠に嬉しく存じます。ご参加の皆様から貴重なご意見・ご助言を賜り、今後の教育活動にいかしてまいりたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

都留市立都留文科大学附属小学校　校長　藤本　裕子

本校のめざす子供像

本校では「やさしく かしこく たくましく」という学校教育目標のもと、意欲を持って頑張れる附属っ子を目指して「自分の考えを伝え合う力を身につけた児童の育成～協働的な学びと日常的な活動を通して～」を研究主題に掲げ、日々取り組んでいます。本校の少人数学級・小規模校という良さをいかしながら、令和９年度の谷村第一小学校との統合も見据えて、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解し、適切に表現することができる児童を目指しています。教育課程特例校（英語）として、１年生からの英語科はもちろん、ALTとのやり取りや日常的に英語での活動を取り入れながら、自らの考えを伝え合うことができるよう、これからも取り組みを進めていきます。

都留文科大学附属小学校

教育課程特例校「英語特区」研究授業としての公開

４年　英語科　「全国給食総選挙 ～附属っ子 Golden Lunch Menu を作ろう!～」（Unit7 Let's Try2）

授　業　者：相川 美登利

指導助言者：都留文科大学　上原 明子 教授

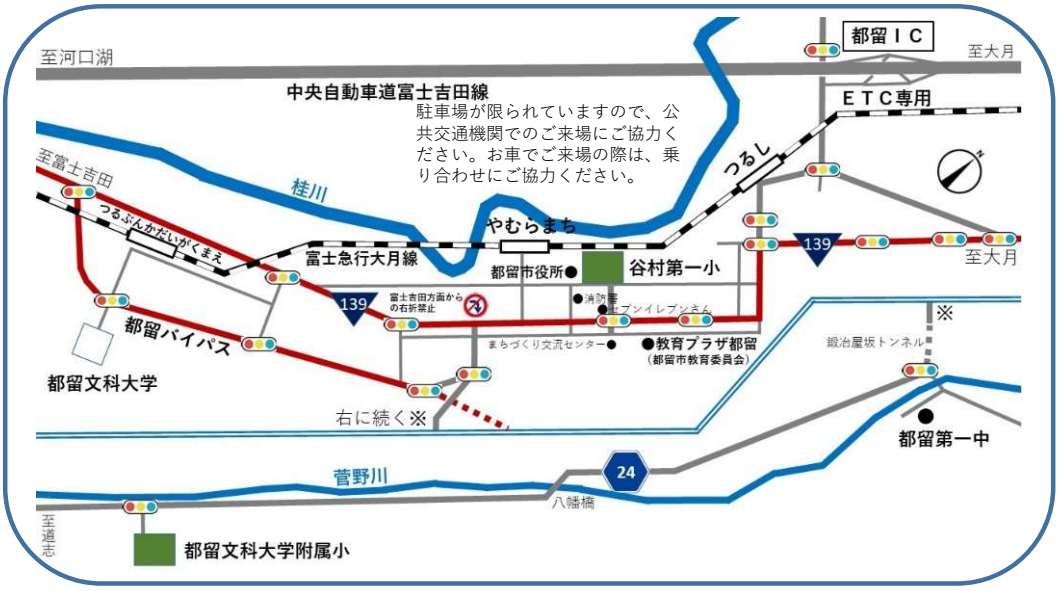
単元で扱う言語材料 “What do you want?” や既習の表現を使い、児童全員と先生方にインタビューを行います。その結果をもとに「附属っ子 Golden Lunch Menu」を考案し、実際の給食メニューとして提案します。この活動を通して、英語で伝え合う楽しさを実感し、自分の考えや思いを積極的に伝えようとする態度を育むとともに、目的・場面・状況・相手に応じたやり取りができる児童の姿を目指します。

全体会は、両校合同で「谷村第一小学校」にて行います。都留文科大学附属小学校の授業をご参観の皆様は、分科会後谷村第一小学校まで、ご移動をお願いします。

お申込み

下のQRコードより参観予定の学校にお申込みください。準備の都合上、11月21日(金)ごろまでにお申込みをお願いします。

谷一小会場　　附属小会場



協力　都留文科大学　　共催　都留市教育委員会　　後援　都留市教育協議会

文部科学省指定　教育課程特例校（英語特区）

都留市教育委員会指定　都留文科大学連携推進研究指定校

都留市立都留文科大学附属小学校

公開研究会

令和7年
11月28日（金）

自分の考えを伝え合う力を身につけた児童の育成
－協働的な学びと日常の活動を通して－

受　　付	13:00～13:20
公開授業	13:25～14:10
分 科 会	14:20～15:05
移　動（谷村第一小学校へ）	
全 体 会	15:45～17:00
総括・講評、鼎談	

13:00	13:25	14:10	14:20	15:05	15:45	17:00
受付	公開授業		分科会	移動	全体会	

ご講評

都留文科大学学長　加藤 敦子 先生

鼎　談

テーマ「子供主体の学びについて考える」

登壇者　都留文科大学副学長　春日 由香 先生
谷村第一小学校研究主任　小川 貴史
都留文科大学附属小学校研究主任　前田 裕太

「子供主体の学び」のあり方について、両校の取り組み実践と最新の知見をもとに考えていきます。

〒402-0023　山梨県都留市大野396番地　TEL0554-43-2336